

しらたか旅先案内人さんによる
ワンポイントガイド



「美味しい鮎シーズン到来」

白鷹町で9月といえば鮎です。鮎といえば下山のヤナ。あゆ茶屋。ここで9月19日から21日まで鮎まつりが行われます。なんと39回目です。昭和52年に荒砥橋の少し下流の最上川河川敷で第1回鮎まつりが行われ、明治の頃から昭和にかけてあったヤナの復活を願ったものです。幾多の難題をクリアし、昭和59年3月、最上川本流常設のヤナが完成、町民参加による白鷹観光開発(株)を設立、翌昭和60年、あゆ茶屋ができ、以来、この地で、鮎まつりが盛況に行われています。



樋口美弥子さん(右)「みんなきてな」
迎田博正さん(左) あゆたべてな」

平成19年には24時間対応の駐車場やトイレ、特産品展示販売コーナーを完備した道の駅「白鷹ヤナ公園・最上川あゆとぴあ」がオープン。

戸籍の窓

【8月1日～8月31日 届出】

ご結婚おめでとう

氏名	住所
鈴木 奨平	浅立
梅澤 美和	荒砥乙
小関 充	鮎貝
丹治 真紀子	福島県
川合 正敏	十王
鈴木 寿枝	十王
鈴木 俊輔	浅立
横野 友里	川西町

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
鮎貝	山口 一喜 未歩	ひな陽
畔藤	中嶋 亮愛	さ彩
横田尻	田苗 俊将 佳美	あい愛
鮎貝	高橋 吉将 絵梨香	おう皇
十王	小畑 博泰 菜緒	ゆう優

おくやみ

住所	氏名	年齢
横田尻	須室 みつゑ	84
荒砥甲	石黒 きぬ	92
畔藤	佐藤 徳雄	78
高岡	樋口 とみ	97
畔藤	飯澤 喜三	74
鮎貝	梅津 みよ子	86
鮎貝	須貝 初太郎	85
箕和田	安江 政勝	56
滝野	海老名 賢一	87
滝野	國谷 せい	99
荒砥甲	小関 哲夫	71
荒砥甲	菅 久男	85
横田尻	鈴木 知記	64
鮎貝	神居 とみ	83
山口	竹境 忠次	90
畔藤	野袋 と次	94
畔藤	藤衣 次郎	89
十王	奥山 樹	83

今年も日本一！



表紙の写真

【田んぼアート】蚕桑駅前夢プロジェクト(代表 木村義弘 氏)の方たちにより、毎年製作されている芸術です。町外や県外、ときには海外からも見学者が訪れ、地域の方とふれあい、そして「つながり」が生まれています。



(こちらは7月の様子です。)

今年、山形県の紅花の生産量は、226kg、その内、紅餅88.2kg、乱花53.8kg、計142kgを収めた白鷹町が、県全体の生産量の約6割を占めました。まさに「日本の紅(あか)をつくる町 白鷹町」今年も紅花生産日本一です。



▼成人式。地元の友人と久しぶりに再会し、喜ぶ新成人の姿を見てうらやましく思いました。▼終戦から70年。白鷹町平和祈念事業を取材し、過去の悲しい記憶が今の平和な暮らしにつながっていることを実感しました。▼忘れられない思い出と、忘れてはならない記憶。心に刻んで、明日からもまた頑張ります。(てづか)